



令和7年4月8日
浦和明の星幼稚園
園長 栗田 亨

今年も満開の桜の花に負けないうらい笑顔満開の子ども達と新年度を迎えることができました。保護者の皆様には、お子様のご進級、ご入園誠にありがとうございます。10日には、新年少組75名を迎え、年中組61名、年長組95名、総勢231名で本園の令和7年度が始まります。本年度から、満3歳児クラスとして5月から来年の1月にかけて順次23名を受け入れ、在籍数は254名となる予定です。極端な少子化、幼稚園離れが進む中で、園児数回復の兆しが見えること、大変嬉しく思います。多くの保護者の皆様にご支持されていることに深く感謝申し上げます。

さて、1日の職員会議では、本年度からの5カ年中期計画で目指す幼稚園の姿『我が子を通わせたい園であり続ける』を確認し、どんな園ならば我が子を通わせたいか話し合いました。その中で、次の5点を柱にして本年度進めていくこととしました。

- ① 子どもの「やってみたい」を保障する。
 - ・夢中になって遊ぶ、遊び込む、深い遊びを体験して、やってみたい心と力を育てる。
- ② 理念（目指す子どもの姿など）が同じである。（保護者と教職員、教職員同士）
 - ・学園訓が目指す「いきいき・のびのび・なかよく」を一人一人の生活に具現化する。
- ③ 安心して任せられる。
 - ・登降園の姿を的確に掴み、変容時には保護者に連絡し、必要に応じて受診する。
- ④ 生涯使える心と力を、012歳、満3、年少・中・長から小学校へと一貫して育む。
 - ・それぞれの指導計画をもとに、緊密に情報交換をして一生涯使える心と力を育む。
- ⑤ 創立60周年の伝統を明日につなぎ、広く社会とつながる。
 - ・本園が大切にしてきた園児の優しさや神様の愛、そして遊びや行事と毎日の生活を「つなぐ」。
 - ・教職員同士、子ども、保護者の皆さん、卒園生、広く地域の皆さんと「つながる」。

始業式では、満60歳は「還暦」にあたること、生まれ変わるためには、これまで大切にしてきたことを、「つなぐ」、新しく「つながる」ことが大切だと伝え、次のように話しました。（以下引用）

「つなぐ」と言えば？そう！「手をつなぐ」。やってみようか？お隣や前後ろの人と手をつないでみましょう！そうだね。あったかいね。手をつなぐとあったかい。何だか、つないだ人と仲良くなった感じ、気持ちが分かるような感じがしませんか？不思議だね。手をつなぐと、心と心が一つにつながったような気持ちになりますね。「つなぐ」「つながる」と、心が一つになったり、安心したりするものです。

皆さんは「やってみたい」を思いついて、一人で直ぐにできますか？一人で直ぐにできる人もいれば、一人でするには、ちょっとという人も居るかもしれません。そんな時、どうすればいいのでしょうか？そうです。友達とつながればいいのです。友達と手をつないで勇気をもらえば、「やってみたい」に挑戦できそうです。今年は、幼稚園60歳の年、自分の「やってみたい」を見つけ、ぜひ、やってみましょう！一人ではどうも、という人は、お友達とでも、先生とでも、お家の人とでも、つながりやすい人とつながって、誰もが「やってみたい」に挑戦する年にしましょう！

創立60周年を迎える今年、幼稚園では、「60周年委員会」を立ち上げ、保護者の皆さんとともに、子ども達の心に残る年にしようと考えています。「つなぐ」「つながる」を合言葉に。「やってみたい」を実際にやってみる。そんなチャレンジングな年にしたいと考えています。創立60周年となる本年も、本園へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。